

目 次

■序	山本一彦 3
■緒言	武井修治 5
略語一覧	8
執筆・協力者一覧	10
小児SLE診療の手引き2018年版の成り立ち		12
1 小児SLEの病態と特徴	12
2 全国調査の成績と治療目標の変遷	12
3 小児リウマチ医療の現状	12
4 小児SLE診療の手引き2018年版の使い方（本手引きの限界）	13
第1章	診断と病態把握	14
1 診断（Step 1）	14
2 病態（臓器機能）および疾患活動性評価（Step 2）	19
3 治療開始前のベースライン評価（Step 3）	20
第2章	治療施設の検討	22
第3章	治 療	24
1 治療目標	24
2 初期治療の重要性	24
3 重症度分類	24
4 臓器障害リスク群別の治療	27
補足 1 ヒドロキシクロロキン (HCQ)	31
2 メチルプレドニゾロン (mPSL) パルス療法の実施例	31
3 ミコフェノール酸モフェチル (MMF)	32
4 経静脈シクロホスファミド (IVCY) 療法	32
5 ACEI/ARBの投与について	32

5 初期治療の評価	33
6 合併症の治療	33

第4章 寛解期の診療	36
-------------------	----

1 治療目標	36
2 寛解病態の評価指標	36
3 副作用の評価	37

第5章 治療手順	38
-----------------	----

第6章 患児とその家族への説明	40
------------------------	----

1 日常生活	40
2 予防接種	40
3 妊娠と出産	41
4 動脈硬化	41
5 患児と家族の支援	41

Appendix

1 小児SLEの皮膚症状	42
2 神経精神SLE (NP-SLE) の分類と診断	47
3 抗リン脂質抗体陽性SLEの治療	50

索引	52
-----------------	----